



3つの常任委員会で 議案を審査

総務文教 常任委員会
11項目を審査

可決
すべきものと決定

燕市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

問 特別職報酬等審議会において、どのような議論が行われたのか。

答 厳しい財政状況や景況感から据え置きが妥当であるという意見の一方、議員定数の4人削減と、さらに報酬額が一つ上位の三条市との差が大きいとする意見から、多数決の結果、引き上げの答申となった。なお、今後、さらなる活発な議員活動により、市の活性化が図られることを期待するとの意見が付された。

反対討論 労働環境が変化している状況の中、市民感情から、市民を代表する立場として賛成できない。

賛成討論 審議会での答申は、附帯意見のように、市議会に対する今後の活性化や、市政発展への期待でもある。これを真摯に受けとめ、議員としてさらに職務を全うすることこそが責務である。

燕市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

問 審議会における議論の内容について伺いたい。

答 据え置きという意見があった一方、ふるさと納税など大きな成果が見られたとの意見があり、結果、引き上げの答申となった。

反対討論 特定の成果だけで特別職の報酬を考えるべきではない。市役所全体で不安定雇用の職員もいる現実を直視すべきである。

賛成討論 議員と同様、重責のある三役の報酬引き上げは対外的に、活性化への波及が期待できるため賛同する。

財産の取得について(分水小学校区における新たな保育園の整備事業用地)

問 保育園整備用地周辺の道路標識等、安全対策について、また民間の運営事業者における、今後の関係者への説明日程について伺う。

答 地域や保護者、個別に説明会を開催したい。日程は、現在調整している。今後も事業の進捗に合わせて、丁寧な説明に努めたい。道路交通等の安全面では、警察との協議を進めながら、事業者ともしっかりと打ち合わせに入りたい。



分水小学校区の保育園整備事業用地

「その他」8項目 (P8 議案番号⑧⑪⑫⑳㉓㉔㉕㉖㉗)

市民厚生 常任委員会
11項目を審査

可決
すべきものと決定

燕市債権管理条例の制定

問 今回の債権管理条例を制定するに当たり、現在の市の不納欠損額の状況について。

答 各債権にわたる不納欠損額については、全てを押さえたいではないが、今後、出納閉鎖までに税務関係以外でも台帳の整理などを行い状況を把握したい。

問 納税相談の取り組みについて。
答 平成31年度から組織改編を行い、収納課収納係を収納係と滞納整理室に分け、機能分担して相談を行っていく。



「納税相談に来られた人の相談内容に応じ、福祉に関連する他課への紹介などの対応は継続したい。」

燕市国民健康保険税条例の一部改正

問 一般会計繰入金等について。

答 平成27・28年度に一般会計から繰り入れた2億2000万円については、想定を超える医療費激増分に対する財政補てんであり、その後の医療費及び現状の財政状況を勘案し繰り戻しをさせていただくもの。

「その他…9項目（P8 議案番号17(18)(20)(32)(35)(所管分)36(37)(38)」



任 委 員 常 任

産業建設

13項目を審査

可決

すべきものと決定

燕市産業史料館条例の一部改正

問 使用料の年間パスポートがない理由について。

答 使用料となると、その施設を排他的に使用することとなり、それが年間ということになると、一般の使用者に支障が出るので、通年での使用というのは無理があるものと考えている。

問 リニューアルオープンに当たって、企画等考えているのか。

答 燕の産業繁栄の礎を築いた昭和の時代にタイムスリップというテーマで、体験工房多目的室、屋外交流広場等いろいろな企画を考えている。

反対討論 この施設に、これ以上お金を使わないでほしい。また観覧料を上げることは、利用者を増やそうとすることに逆行する気がしてならない。



リニューアルオープンした産業史料館の館内

賛成討論 値上げについては、より充実したものを提供していただけるものと受けとめている。また、新しくできる使用料を取る施設についても、日ごろ何が行われているのかなど、情報発信を行っている。また、産業史料館がその機能を発揮できるよう期待している。

燕市森林環境保全基金条例の制定

問 国会でまだ法案が通っていない中で、この基金条例を提案した理由について。

答 県から、森林の環境整備等への活用財源として、市町村等

に譲与される「森林環境譲与税」の受け皿として、当初予算で予算組をしてほしいということ、この基金条例を提案した。

反対討論 森林環境譲与税の原資となる「森林環境税」について、「個人住民税に合わせさせて徴収するようなやり方」には納得できないし、本来国の責任でやるべきで、市民にかけるような税負担には反対である。

燕市有吉田東栄町住宅条例の一部改正

問 空き地の管理について。

答 空き地の管理については、市で行っている。

平成30年度 燕市一般会計補正予算(第12号)

問 除排雪対策事業の増額理由について。

答 昨年の豪雪による、消雪パイプ等の修繕料が、主な増額理由である。

「その他…9項目（P8 議案番号14(15)(21)(24)(25)(27)(29)(33)(39)」

このような審査を経て、本会議で採決しました

